

年度 2008 学期 後期	曜日・校時 火4	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	人間の科学 (映画から見る精神医学:シネサイアトリーへの招待) Human Sciences (Cinepsychiatry)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類	人間科学科目
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:小澤 寛樹 /Eメールアドレス:ozawa07@nagasaki-u.ac.jp /研究室:精神神経科教授室 /TEL:095-819-7291/ オフィスアワー:水 12:00-13:00			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法 (学習指導法) /授業到達目標</p> <p>授業のねらい: 具体的にイメージしにくい精神医学の様々な現象、症状、問題に関して映画・テレビなどの映像表現を通じて、人のこころに対する理解を深め、自己の考え・感情を論理的・能動的に議論することを目的とする。</p> <p>授業方法: 精神医学的問題をテーマとした映画あるいはドラマを取り上げ鑑賞する。疑問点を教員とともにグループ討論し、ときにはデベートし、理解を深める。</p> <p>授業到達目標:主要な精神疾患患者の症状・病態・生活・人生を語るができる。</p>			
<p>授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要) 人数にもよりますが、一例として下記のような方法を挙げておきます。 テーマ・映画を決める (教員が題材に関してはアドバイスします) →担当学生がインターネット、教科書などで精神医学・映画の概要を調べてくる →担当学生が精神医学に関するプレゼンテーション、教員補足 →皆で映画の鑑賞 →担当学生映画の解説と感想をのべる。そのとき学生は話し合ってもらいたい論点を提示する →論点を中心に皆で話し合いと映画の振り返り →感想を次回までA4一枚以上に書き提出。</p> <p>第1回・第2回 : オリエンテーション 第3回・第5回・第7回・第9回・第11回・第13回 : 各回1つの映画について上記の通りの授業内容を行う。何回目にどのテーマ(統合失調症、境界例、強迫性障害、うつ病、解離性同一性障害、器質性精神病)・映画にするかは、オリエンテーションで学生と相談の上決定する。 第15回:まとめ</p> <p>【注意】 3回目以降の講義場所は<b>附属病院1Fの精神科カンファレンスルーム</b>(木曜日17時開始)となります。 映画やドラマを鑑賞するという都合上、<b>2コマ分の時間</b>を利用します。 (日程は講義初日に皆さんと相談して決定します。) 5校時目以降に他の科目を受講する方はご遠慮ください。</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	プリントの配布		
成績評価の方法・基準等	レポート (50%) ディスカッションへの参加状況 (50%)		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			